

原著論文—和文（査読あり）

1. 近藤 直樹, 土田 尚, 黒部 麻代, 迫田 和樹, 竹下 智恵, 唐木 佑美, 笠間 あい, 常盤 浩一, 杉浦 さくら, 新井 貴子, 難波 吉雄, 前田 光哉. 治験参加のために入院する患者の負担軽減措置への対応について. 医療 78(2) : 117-121, 2024
2. 近藤 直樹, 渡邊 達也, 老本名津子, 黒田 智, 鶴丸 雅子, 森山 菜緒, 深川恵美子, 木俣 美津夫, 小林 久子, 玉木 慎也, 實 雅昭, 福田 祐介, 濃沼 政美. 実施医療機関から被験者に治験使用薬を配送するための手順書作成のための留意点の検討. 臨床薬理 55(4) : 203-208, 2024
3. 長沼 未加, 島貫 英二, 松村 敦子, 鈴木 仁, 八坂 瑞臣, 牧原 直, 濃沼 政美, 近藤 直樹. 専門医療機関連携薬局制度創設時における認定状況と専門薬局の医療連携に関する実態調査. 日本臨床腫瘍薬学会雑誌 39(1) : 1-7, 2025
4. 永見恵里奈, 植木大介, 島田昌裕, 田村厚久, 近藤直樹. テポチニブ導入後の心嚢液貯留を伴う全身性浮腫からの改善例報告と早期発見のためのフローチャート作成. 日本臨床腫瘍薬学会雑誌 39(1) : 31-37, 2025

原著論文—和文（査読なし）

1. 近藤 直樹. 今月の用語～隣に伝えたい新たな言葉と概念「被験者負担軽減費」. 医療 78(2) : 122, 2024

口頭・ポスター発表 — 国内学会・研究会

1. 安田 和誠 田沼健太郎 船崎 秀樹 近藤 直樹. 新たな配合変化表の作成とその有用性調査について. 日本病院薬剤師会関東ブロック第 54 回学術大会, 大宮, 8. 11, 2024
2. 小関 遥香, 吉田 幹宜, 割田 慎哉, 滝柳 咲希, 荒木 佑佳, 小野村理抄, 船崎 秀樹, 近藤 直樹. 薬局対応型疑義照会事前同意/プロトコール及び院内対応型疑義照会簡素化プロトコールの運用状況調査. 日本病院薬剤師会関東ブロック第 54 回学術大会, 大宮, 8. 11, 2024
2. 萬谷摩美子, 山崎 朋子, 柴田 海斗, 小林 勝利, 山辺 健仁, 櫛引 智子, 高波 正信, 山田 祐司. ホスピス緩和ケア協会関東甲信越支部 薬剤師交流会（メーリングリスト）の立ち上げと活動について. 第 6 回日本緩和医療学会関東・甲信越支部学術大会, 松本, 10. 6. 2024
3. 吉田 幹宜, 田沼 健太郎, 船崎 秀樹, 近藤 直樹. 電子処方箋導入に向けた薬剤部の取り

- 組みと実際. 第 78 回国立病院総合医学会, 大阪, 10.18, 2024
4. 安田 和誠 田沼健太郎 船崎 秀樹 近藤 直樹. 3 剤以上を混合した新たな配合変化表の作成と薬剤師・看護師への業務負担軽減調査. 第 78 回国立病院総合医学会, 大阪, 10.18, 2024
 5. 池滝 晶子, 後藤 七生子, 植木 大介, 山田 昌彦, 瀬川 誠, 西村 富啓. 関信地区国立病院における薬剤部科対象の タスク・シフト/シェアの調査. 第 78 回国立病院総合医学会, 大阪, 10.18.2024
 6. 近藤 直樹. 治験・臨床研究 (育薬) への薬剤師の役割と期待. 第 34 回日本医療薬学会年会, 幕張, 11.3.2024
 7. 盛川 敬介, 近藤 直樹, 佐藤 ソメヨ, 直井 隆浩, 齊藤 達也, 坂本 有加, 濃沼 政美, 渡邊 達也. 使用成績調査に関する医療機関の実施体制の調査および医師・薬剤師への意識調査. 第 16 回 日本臨床試験学会学術集会総会, 横浜, 2.28.2025
 8. 植木 大介, 永見 恵里奈, 白鳥 瞳, 関 正則, 日下 圭, 田村 厚久, 船崎 秀樹, 近藤 直樹. レジメンチェックシート導入前後の介入内容の変化、意識変容についての検討. 第 22 回日本臨床腫瘍学会学術集会, 神戸, 3.7.2025
 9. 白鳥 瞳, 植木 大介, 永見 恵里奈, 阿部 紗彩, 船崎 秀樹, 近藤 直樹. レジメンチェックシート導入前後の介入内容の変化、意識調査の検討. 第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025, 横浜, 3.15.2025
 10. 植木 大介. レジメンチェック項目共通化に向けた臨床研究. 第 14 回日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2025, 横浜, 3.15.2025

総説一和文

1. 近藤 直樹. 「医師の働き方改革」元年タスク・シフト/シェアで拡大する薬剤師業務. 薬局 75 (8) : 1149-1153, 2024
2. 近藤 直樹. 省令 GCP 施行から四半世紀を振り返って～省令 GCP 施行以降のトピックス～ (38) 「製造販売後調査を取り巻く環境の変化 (その 1)」. Clinical research professionals (97・98) : 20-21, 2024
3. 近藤 直樹. 省令 GCP 施行から四半世紀を振り返って～省令 GCP 施行以降のトピックス～ (39) 「製造販売後調査を取り巻く環境の変化 (その 2)」. Clinical research professionals (99・100) : 24-25, 2024
4. 近藤 直樹. 省令 GCP 施行から四半世紀を振り返って～省令 GCP 施行以降のトピックス～ (40) 「製造販売後調査を取り巻く環境の変化 (その 3)」. Clinical research professionals (101・102) : 2-3, 2024

単行本—和文

1. 近藤 直樹（共著）. 治療薬マニュアル 2025. 医学書院, 東京 2025, p2582-2631-

口頭発表—講演会等

1. 植木 大介. irAE(免疫関連有害事象)について. 第5回北多摩北部がん薬剤師連携の会合同勉強会 (WEB), 6. 28. 2024
2. 近藤 直樹. 「院内製剤の調製及び使用に関する指針」の一部改正のポイントと運用にあたっての留意点. 第7回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum (WEB), 7. 13~8. 12. 2024
3. 植木 大介. 肺がんの薬物療法について. 日本薬剤師研修センター「病態と薬理を理解して薬学的ケアを実践する—肺がん—」研修会, 大阪/東京, 7. 28. 2024/8. 25. 2024
4. 近藤 直樹. 「国立病院機構の治験薬剤師、治験看護師が目指すべき方向性とは?」. 令和6年度国立病院機構中国四国グループ内治験・臨床研究研修会 (WEB), 1. 27. 2025

その他

1. 植木 大介. 実践で活かせる副作用マネジメント「眼障害」.
<https://med.sawai.co.jp/oncology/management/index.html>, 2. 2025
2. 近藤 直樹. 院内製剤の調製及び使用に関する指針の一部改正のポイントと運用にあたっての留意点. 日本病院薬剤師会 e-ラーニング. <https://jshp-elearning.jp/elsnr/seminar/#17>